

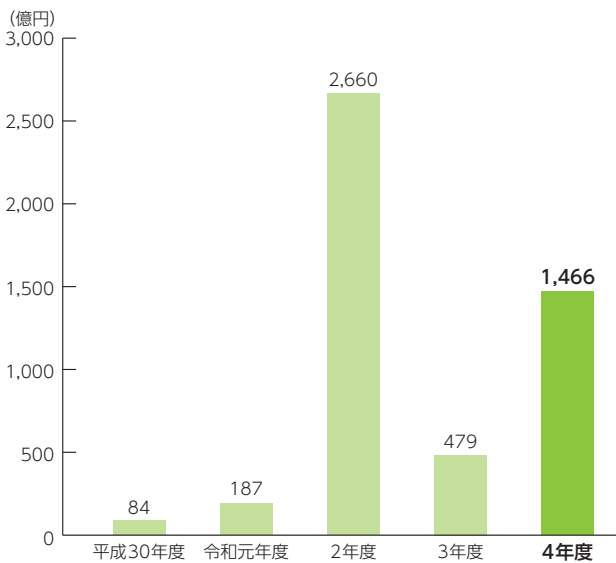
原油価格・物価高騰対策などセーフティネット機能の発揮

災害や経営環境の変化に対応したセーフティネット機能を発揮しています

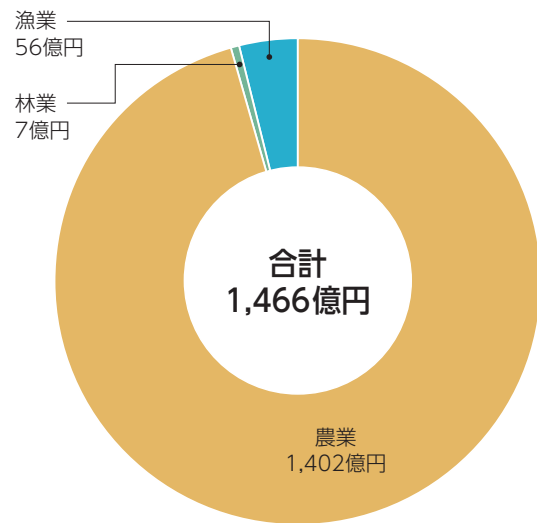
地震、台風、津波などの自然災害や家畜伝染病、原油価格・物価高騰などの影響により、一時的に経営が悪化した農林漁業者の皆さまに長期運転資金をはじめとする融資を通じた機動的な支援を行い、セーフティネット機能を発揮しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け収入が減少した農林漁業者の皆さまや、原油価格・物価高騰の影響で支払い経費が増加した皆さま、自然災害や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病により被害・影響を受けた皆さまに対し、融資をはじめとした支援を実施しました。機動的なセーフティネット機能の発揮に取り組んだ結果、「農林漁業セーフティネット資金」の融資実績は前年度から987億円増加し、1,466億円となりました。

農林漁業セーフティネット資金の融資実績の推移



農林漁業セーフティネット資金の融資実績 (令和4年度)



原油価格・物価高騰対策などセーフティネット機能の発揮

相談窓口設置について

新型コロナウイルス感染症のほか、地震、台風、津波などの自然災害や家畜伝染病、原油価格・物価高騰などの被害・影響を受けた農林漁業者などの皆さまに対して、随時本支店に特別相談窓口を設置し、融資や返済に関するご相談に応じています。

令和4年度は、原油価格上昇や高病原性鳥インフルエンザ関連、台風第14号に関する相談窓口などを設置しました。

コロナ禍を乗り越えて新事業を立ち上げる農業者を協調して支援

A社は四季折々の果物を生産。首都圏から好アクセスの立地を生かし、年間約50万人を集客する観光農園を営んでいましたが、コロナ禍で観光農園の来園客が大幅に減少し、経営に大きな打撃を受けました。

そのため、同社はこの状況を打開すべく新事業の立ち上げを決意。国産果実酒への人気の高まりを背景に、観光農園事業への波及効果も見据え、同社や地元で生産した果物を原料としたワイン及びシードル製造とスイーツカフェ事業への参入を計画。農林水産事業及び民間金融機関にワイナリー及びカフェ建設に必要な資金について相談しました。

農林水産事業と民間金融機関は、A社の強みである知名度や集客力を生かせる事業であること、地元産の果物の利用や観光客誘致により地域活性化が見込まれることを評価。協調して本事業に必要な資金を融資しました。



新設したワイナリー外観